

厚生労働科学研究委託費（循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策実用化研究事業）

受託業務成果報告書（業務項目）

2. 地域診療体制構築の準備

研究代表者	佐藤哲子	京都医療センター臨床栄養代謝研究室 室長
研究分担者	長田太助	自治医科大学内科学講座 教授
研究分担者	野田光彦	国立国際医療研究センター糖尿病研究部 部長
研究分担者	石井均	奈良県立医科大学糖尿病学講座 教授
研究分担者	大石まり子	大石内科クリニック 院長
研究分担者	赤司朋之	佐賀大学医学部肝臓・糖尿病・内分泌内科 臨床教授
研究協力者	武呂誠司	大阪赤十字病院糖尿病・内分泌内科 部長
研究協力者	花岡郁子	市立岸和田市民病院代謝・内分泌内科 部長
研究協力者	伊藤弘人	国立精神・神経医療研究センター社会精神保健研究部 部長

研究要旨

各地域の糖尿病地域診療体制の構築と全国レベルでの均てん化に向けた共通化・標準化の試みについて検討し、各地域での連携会・講演会の開催方針について検討する。地域診療体制による新規糖尿病前向きコホートで利用する地域連携パスシート・合併症予防パンフレット作成の準備を進める。

A. 研究目的

各地域の糖尿病診療体制の全国レベルでの均てん化に向け、診療科間・地位域連携の重要性を説明、周知させ、連携患者の登録を促すことを目的とする。

B. 研究方法

基軸病院の医者および、各地域のかかりつけ医を対象とした講演会・説明会開催の詳細について討議し、速やかかつ効果的な地域連携構築のための基盤体制を構築する。

C. 研究成果

基幹病院・地域病院の各機関における評価・測定項目を選定し、診療体制の標準化に向けた議論を行い、診療科間・地域連携パスシート案を考案した。さらに、合併症予防パンフレット及び糖尿病連携手帳を活用した地域連携ツールを開発した（DEP ノート：全 66 ページ [別添資料は一部抜粋]）。本成果は、International Journal of Endocrinology に論文投稿中である（Noriko Satoh-Asahara, Hiroto Ito, Tomoyuki Akashi, Hajime Yamakage, Kazuyuki Nakagome, and

Mitsuhiko Noda: A Shared Approach for Integrating Depression Care and Diabetes Care)

地域診療体制に関する地域連携会・講演会の実施地域は下記の5地域とした。

- 1) 京都地域
- 2) 奈良地域
- 3) 大阪地域（大阪市、岸和田市）
- 4) 福岡・佐賀地域
- 5) 栃木地域

D. 考察

糖尿病合併症重症度評価の指標として用いている患者情報・検査項目の策定が行われたことにより、効果的な地域連携のために必要な診療科間・地域連携パスシートを開発するなど順調な進捗が見られた。基軸機関と地域病院の効率的な連携のため、パンフレットやバインダー型ツールの開発を行った。うつと糖尿病を包括した地域連携バインダーは、糖尿病診療における画期的ツールとして活用が期待され、次年度以降も地域診療体制確立に向けた研究の進展が見込まれる。

E. 結論

地域連携活動や診療体制の実際について班員の共通理解を深めるとともに、地域連携ツールの開発に着手し、医療連携方式の具体的方法を考案、確立した。

F. 健康危険情報

該当事項なし

G. 研究発表

1. 論文発表

赤司朋之：コーディネーターを活用した連携パスでの透析導入予防の試み 日本糖尿病情報学会誌 Vol. 12：25－28 (2014)

2. 学会発表

1) 赤司朋之：コーディネーターを活用した「顔の見える連携」がもたらした地域全体での糖尿病診療水準向上 第57回日本糖尿病学会年次学術集会・シンポジウム《地域連携の夢と実践》平成26年5月24日 大阪

2) 赤司朋之：糖尿病療養指導から始まる薬剤師の地域連携 第3回日本くすりと糖尿病学会学術集会・シンポジウム《糖尿病療養指導における薬薬学連携の推進 - 糖尿病治療薬の適正使用に向けて - 》平成26年11月2日 福岡

H. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得

該当なし

2. 実用新案登録

該当なし